

世界に誇れる極上の会津米づくり「目指そう 今年も特A 会津コシ1等米100%」

両沼地方稲作情報 第1号

令和2年3月26日

発行： 福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2112)
" 金山普及所 (電話0241-54-2801)
JA会津よつば 各営農経済センター、(有)カネダイ、(有)猪俣徳一商店
(有)山一米穀店、会津宮川土地改良区、阿賀川土地改良区、会津坂下町只見川土地改良区

今年は暑くなるので温度管理に気をつけましょう

- 1 気象情報 (仙台管区气象台発表「東北地方1か月予報」令和2年3月12日発表より抜粋)
<3月14日から4月13日までの天候見通し>
天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
向こう1か月の平均気温は、高い確率80%です。

2 良い苗作りのための注意点

「良い苗」とは…

- ①病気にかかっていないこと → 種子消毒、塩水選、適切な薬剤施用、温度管理
- ②苗丈や葉齢の揃いが良いこと → 十分な浸種と催芽・出芽管理
- ③苗質が良い(ずっしりしている)こと → 適正な温度管理と水管理

表1 塩水選用の塩水の作り方(水10ℓ当り)

(1) 塩水選～購入種子でも実施～

収量、品質向上、病害虫防除の基本的な対策です。購入種子でも塩水選を実施しましょう

(2) 浸種～水、酸素、温度に気をつける～

積算水温(水温×日数)で100～120℃とします。網袋に対して種子量が多すぎると酸欠になり芽揃いが悪くなります。最初の2日間は水替えなしで良いが、その後は毎日交換します。

(3) 催芽 ～28℃以上の高温にしない！～

催芽適温は30℃～32℃ですが、もみ枯細菌病対策として28℃以下とし、袋の内部まで均一になるように薄く広げます。

(4) 播種作業 ～立枯病の予防を～

播種時に苗立枯病の防除を必ず実施します。病原菌により効果のある薬剤が違うので、効果のある薬剤を選択しましょう。

	比重	食塩	硫安 ^(21%)
うるち	1.13	2.1kg	2.7kg
もち	1.10	1.6kg	2.0kg

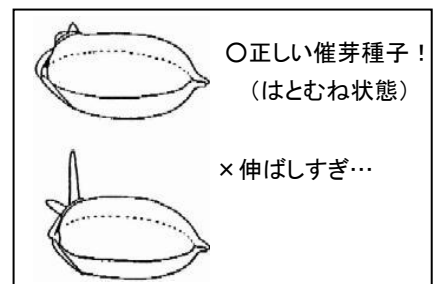


図1 正しいハト胸催芽もみ

●台風19号によるワラ流入圃場について

- ・流入したワラはなるべく圃場外へ持ち出しして下さい。
- ・すき込む場合は田植えの1ヶ月前に石灰窒素を20kg/10a 散布してから耕起し、腐熟を促進してください。

この場合、基肥の窒素(N1～2kg/10a)を減らし、穂肥で調整するようにします。

農作業安全運動実施中!

3/1～5/31
安全な農作業を
心掛けよう!



(5)出芽 ～育苗機を利用の場合は28℃に設定～

30℃以上ではもみ枯細菌病が発生しやすいので、**出芽温度は28℃以下とします。**5mm～10mm を目安に芽が伸びすぎないように注意しつつ行いましょう。

被覆資材を利用した無加温出芽でも、**28℃を超えないように温度管理**は注意深く行いましょう。

(6)緑化 ～高温管理は徒長のもと～

昼間 20～25℃夜間 15℃が最適です。強い光に急に当てないようにしましょう。

かん水は午前中におこなう。播種時に苗立枯病防除をしていない場合はこの時期に実施しましょう(防除は夕方ではなく午前中に！)。

(7)硬化 ～過保護にしない～

昼 20℃、夜間 10～15℃が最適です。30℃以上の高温では障害の原因となります。

かん水は、なるべく朝のうちに行いましょう(午後の冠水は床土が乾燥しすぎている場合に行います)。

表2 育苗期に注意すべき病害

病名	発生の様子(症状)	防除法
リゾプス属菌による立枯病	出芽～緑化時に箱全体が白カビで覆われる。	出芽期 32℃以上の高温、緑化期以降 10℃以下の低温、過湿を避ける。
ピシウム属菌による立枯病	地際部にはカビが見えない。苗が円形またはドーナツ状に枯れる。	特に 10℃以下の低温を避ける。
ピシウム属菌による立枯病(ムレ苗)	急にしおれ、根の活力が弱り、葉がコヨリ状に巻いて枯死する。	5℃以下の低温にあてない。霜注意報が発令された場合、早めにハウスの裾を閉め、保温に努める。
もみ枯細菌病	芽は褐色になり、腐敗・枯死する。葉齢が進んだ状態で感染すると、新葉は腐敗し、引っ張ると抜けるようになる。	種子伝染病のため、健全籾の使用、種子消毒による防除が基本である。催芽・出芽は 28℃以下に管理し、ハウス内は 30℃以上の高温にならないようにする。発病がみられた箱は、発病していないように見える部分も含めてすべて廃棄し、移植しない。

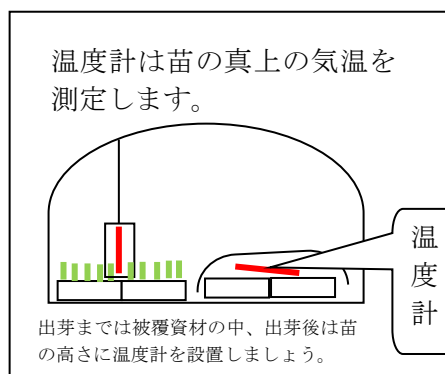


図2 育苗中の温度計の位置



写真1 苗立枯病(ピシウム属菌)



写真2 もみ枯細菌病



写真3 もみ枯細菌病

コラム 土地改良区から

- ・現在春作業分の水量は確保していますが、今後の天候次第では渇水になるおそれがありますので、節水にご協力ください。
- ・通水のために水路の土砂上げ、草刈り、ビニールゴミの撤去をお願いします。

次号は
4月10日頃
発行予定です